

令和5年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（後期）講義概要

【社会生活コース】

ね ら い：社会に関わる様々な事象について学び、社会や生き方を見つめ直すヒントを得る。

令和5年度後期は、SDGs(誰一人取り残さない社会)をテーマに、多様性への理解や住みよい

まちづくりについて学び、受講生各自が主体的に考え方行動するきっかけとなることをめざす。

日 程：原則として、各回金曜日 14:00 から 15:30 まで (第13回から15回のみ月曜日)

会 場：グリーンカレッジホール シニア学習プラザ(志村3-32-6)3階 教室1

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
(第9～12回) 9月 8日 9月 22日 10月 6日 10月 13日 東京家政大学 女性未来研究所 副所長 ひらの じゅんこ 平野 順子	もはや昭和ではない！令和時代の多様性社会のために SDGs の理念にもジェンダー主流化が挙げられており、ジェンダー平等の実現は、これからの時代の well-being(よく生きること)を左右します。ジェンダー平等・多様性社会の実現の基礎となる他者理解、またジェンダー平等のためには何が必要なのか、参加型学習によって学びます。 ● 9月 8日：身の回りにあるジェンダー問題について考えよう ● 9月 22日：老若男女、多様な人たちを理解しよう ● 10月 6日：自分の常識を疑ってみよう ～立場が違うと常識も違う～ ● 10月 13日：令和時代の多様性社会のために ～もはや昭和ではないこれからのジェンダー観～	①自分の身近なジェンダー問題に気づき、自分で考えて考えられるようになります。 ②自分とは異なる立場の人に思いをはせ、多様な人々の well-being(よく生きること)のために考え、行動できるようになります。
(第13～15回) 10月 16日 10月 23日 10月 30日 日本女子大学 家政学部住居学科 助教・一級建築士 植田 瑞昌/ かもじ しんご 鴨治 慎吾	あなたのまち「いたばし」をだれもが住みやすいまちにするために 住み慣れた「いたばし」を家族や近隣の人たちなど、子どもから高齢者までだれもが住みやすいまちにするためには、どうしたらよいでしょうか。すべての人にとって暮らしやすい地域社会の実現をめざす「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れて、建物や道路などのハード面と、しきみや人的対応などのソフト面、両方の視点から一緒に考えます。 ● 10月 16日：まちづくりの歴史を学びます ● 10月 23日：まちの中の様々な課題や身近な困りごとについて考えます ● 10月 30日：障がい当事者のお話を聞いて、住みやすいまちについて一緒に考えます	「心のバリアフリー」やユニバーサルデザインについての知識を得て、身近な地域にある課題を見つけ、共生社会の実現に向け、まちづくりを通して考える力を身につけることができます。

<裏面あり>

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第16~18回)</p> <p>2月 2日 2月 9日 2月 16日</p> <p>尚美学園大学 総合政策学部教授</p> <p>やす あきひろ 安 章浩</p>	<p>環境問題をめぐる政治と公共政策</p> <p>現在、地球温暖化傾向に対して、世界が連帶して、気温上昇を抑制すべく、様々なグローバルにわたる制度形成が構築されつつあります。そこで本講義では、このような世界的な環境問題への対応の内容や課題、効果等について、政治や公共政策の理論的観点から、検討、考察し、最後に日本の環境政策の方向性について考えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2月2日:環境問題をめぐる政治について考える。 ●2月9日:環境問題をめぐる公共政策について考える。 ●2月16日:日本における環境政策の概要と課題を検討する。 	<p>本講義を通じて、政治や公共政策理論の視点から、環境問題について、深く考察できる能力の向上を目指します。</p>

【注意事項】

- 1 入学2年目の方は、講座の受講のほかに、卒業レポートを提出していただく必要があります。
卒業レポートの提出期間は、11月1日(水)~12月1日(金)です。詳細は、「卒業レポート」提出のお願いをご覧ください。
 - 2 やむを得ない事情により、日程、講座テーマ、場所を変更することがあります。
 - 3 長期欠席の後にご出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。
- (板橋区教育委員会事務局生涯学習課社会教育推進係 グリーンカレッジ担当 電話 3579-2633)